



令和 7 年 7 月 16 日
午前 午後 11 時 51 分 受領

議長	事務局長	係
		

No. 1

令和 7 年 7 月 16 日

あいなん未来議会議長 吉田 茂生 殿

8 班 あいなん未来議会議員 中尾 紫乃

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1.愛南町の公共交通の充実について 本町は人口減少・高齢化が進行している地域であり、公共交通機関の充実は住民生活を支える重要な課題となっています。現在、本町における公共交通は、民間事業者による路線バス、町の運営によるコミュニティバス（あいなんバス）、タクシーなどで構成されています。 これらの公共交通は、日常生活に必要不可欠な移動手段となっていますが、自家用車への依存の高まりや少子高齢化の進展に伴い、民間交通事業者の経営環境の悪化や町の財政負担の増加など、維持が厳しい状況にあります。そのため、地域公共交通を取り巻く現状は厳しさを増しています。 令和 5 年 3 月に「愛南町地域公共交通計画」が策定され、計画の目標と達成指標が設定されていますが、私たち高校生の視点からはその有効性を実感することができていません。 ・運行便数の不足について、登下校時間帯に合わせた便数が少なく、利用機会を逸失している状況です。限られた便数により、特定の時間帯に利用者が集中する傾向があります。 ・駐車場所の問題について、南宇和高校前に停車する路	町長

線もありますが、一本松線は停車しないため、利便性が低下しています。

南宇和高校全校生徒を対象に実施したアンケート結果によると「高校前まで運行されれば利用したい。」という要望が多数寄せられておりますが、現状としてあいなんバスは民間バス会社の廃止路線を補完する形で運行しているとお聞きしております。

また、民間バス会社が既に運行している路線での新規運行は困難であり、2024 年から施行された労働基準法改正により運転手の労働時間に上限が設けられたため、現行以上の便数を確保することは難しい状況ということも聞いております。

現在の路線は、住民の意見を反映した再編を実施されています。具体的には、「あいなんバス」の利用状況を地元関係者に意見聴取（令和4年度から令和5年度）され、これらの結果を踏まえ、町では路線再編案を作成しています。しかしながら、この再編案の作成過程では高校生からの意見聴取が行われておらず、運転手の増員等における雇用対策などの複合的な施策による課題解決に向けた議論が十分になされていない状況と考えます。

高校生の意見では、授業終了時刻とうまくかみ合わず、かなりの時間を待つ必要があります。その間、待つスペースがなく、近くの店舗に滞在せざるを得ないという状況です。

（１）従業員を増加するなどして、増便に対応することは可能でしょうか。

（２）高校の授業終了時刻や下校時間に合わせた運行を行うことは可能でしょうか。

（３）一本松線は、南宇和高校前で停車することは可能でしょうか。